

総務部

「下請法基礎講習会」を開催

下請法の普及・啓発、違反行為の未然防止に取り組んでいます

沖縄総合事務局は、企業で発注等の実務を担当されている方に、下請法(下請代金支払遅延等防止法)について基礎的な知識を習得していただくための講習会を7月23日(水)に北谷町(北谷商工会)で開催しました。

本講習会は、講師と参加者がコミュニケーションを図りつつ、下請法を一から学べるよう小規模で実施し、出席した皆さん

から活発な質問をいただきました。

今後も、皆様からの御要望があれば講習会を開催いたします。

下請法に関するご相談やご質問は随時受け付けています。下請取引で何かお困りのことがございましたらお気軽に相談窓口までご連絡下さい。



下請法とは、下請取引を公正にし、下請事業者の利益を保護するための法律です。
詳しくはこちら↓

(<http://www.jftc.go.jp/shitauke/shitaukegaiyo/index.html>)

【相談窓口】

総務部公正取引室

☎098-866-0049

財務部

「第32回 国有財産沖縄地方審議会」を開催

6月16日(月)、沖縄総合事務局において、「第32回 国有財産沖縄地方審議会」を開催しました。本審議会は、沖縄総合事務局長の諮問に応じて国有財産の管理及び処分等について調査審議するものであり、委員は、各分野における学識経験者で構成されています。

今回の審議会における諮問事項は下記の2件であり、いずれも先島における地域と連携した大規模な国有地の処分案件となりました。

【諮問事項①】

宮古島市に対し、財務省所管普通財産(旧県立宮古病院跡地)を中央図書館・公民館(仮称：宮古島市未来創造センター)用地として売却することについて

旧県立宮古病院跡地(約23千㎡)は、昭和18年から19年にかけて兵舎建設のため旧海軍が買収した財産であり、戦後、沖縄県が国から土地を借り受けて県立宮古病院敷地として利用してきましたが、同病院の別地移転(平成25年6月)に伴い、国に返

還され、島の振興発展に資する図書館と公民館の機能を併せ持った拠点施設である「宮古島市未来創造センター(仮称)」用地として、宮古島市が活用する計画です。

【諮問事項②】

石垣市に所在する財務省所管普通財産(旧石垣空港跡地)を沖縄県に対して一般県道石垣空港線用地として無償貸付及び時価売却すること、並びに沖縄県病院事業局に対して新県立八重山病院用地として減額売却することについて

旧石垣空港跡地は、昭和18年から19年にかけて平得飛行場建設のために旧海軍が買収した財産であり、戦後、沖縄県が国有地等を借り受けて石垣空港敷地として利用してきましたが、新石垣空港の移転・開港(平成25年3月)に伴い廃港となりました。旧空港跡地(約49ha)は、その約60%(約31ha)を国有地が占めており、今回はその一部を一般県道石垣空港線用地(約9千㎡、市街地と新空港のアクセス改善等)、新県立八重山病院用地(約31千㎡、老朽・狭隘

解消のための移転用地)として沖縄県が活用する計画です。既に隣接地には、国有建物を購入・活用した市消防庁舎と急患搬送用ヘリポートが整備済みです。

以上の2件が審議された結果、諮問どおり処理することが適当と認める旨答申がなされました。財務部では、引き続き、地域と連携した国有財産の有効活用を図ることによって、地域・社会のニーズに対応できるよう努めていきます。



宮古島市未来創造センター(仮称)



新県立八重山病院(イメージ図)

～食育講演会～

農林水産部

“県民一人ひとりが健康長寿に向けて「食」について考えましょう!”を開催



沖縄総合事務局では、4月に設立された「健康長寿おきなわ復活県民会議」の構成団体として、生活習慣病の現状や実践的な食生活改善の方法・取組について紹介し、県民一人ひとりが健康長寿に向けて「食」について考える機会の提供を図る「食育講演会」を、6月18日(水)に沖縄県立博物館・美術館で、開催しました。

第一部では、「沖縄県民の食の変遷にみる健康・長寿に与えた影響」と題して、琉球大学大学院医学研究科准教授の等々力英美氏から、戦前の伝統的食形態から戦

後、現在に至る社会経済的変化が栄養・健康に影響していることや子どもへの食育活動を通して親の食生活改善を働きかける取組をご紹介いただきました。

第二部では「沖縄県民の生活習慣病の現状について」と題して、沖縄県医師会理事の石川清和氏から、県民の心疾患や急性心筋梗塞などで死亡する働き世代の割合が他府県と比べて高い状況にあることや、野菜不足などの問題点の指摘と問題解決に必要な食生活の改善と運動の取り入れ、十分な睡眠・休養などの重要性に

ついて、ご講演いただきました。

第三部では「簡単!早い!栄養バランスのとれたメニューの提案～健康づくりのための食事バランスとは～」と題して、ヘルスプランニング カエの代表で管理栄養士の伊是名カエ氏から、食物繊維が豊富な野菜を食べることの重要性、野菜を多く食べるための工夫について、ご紹介いただきました。

講演会には、一般の方々を始め、市町村食育担当者など約150名の参加がありました。



琉球大学大学院准教授 等々力英美氏の講演



沖縄県医師会理事 石川清和氏の講演



ヘルスプランニングカエ(代表) 伊是名カエ氏の講演

開発建設部

平成25年度 沖縄総合事務局 開発建設部所管優良業者等表彰式を開催

7月16日(水)、「平成25年度 沖縄総合事務局開発建設部所管優良業者等表彰式」を開催しました。本表彰は平成25年度に完成した工事271件、業務284件の中から、優良施工工事8社、安全施工工事3社、優良業務6社、優秀工事技術者5名、優秀業務技術者3名を表彰いたしま

した。今後とも発注者と受注者の連携・協調により、質の高い社会基盤整備の構築を推進してまいります。

詳細及び各事務所長表彰については以下のHPをご覧ください。

<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/koji/007773.html>



【優良施工工事】

業 者 名
株式会社ホカマ
株式会社丸孝組
株式会社大城組
有限会社大和緑建
有限会社国栄建設
パイオニア電設株式会社
東洋・みらい・本間 特定建設工事共同企業体
株式会社 太名嘉組

【安全施工工事】

業 者 名
大永建設株式会社
先嶋建設株式会社
株式会社小波津組

【優良業務】

業 者 名
株式会社ニュージエック沖縄支店
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ沖縄支店
株式会社長大沖縄事務所
株式会社国建
パシフィックコンサルタンツ株式会社沖縄支社
一般財団法人みなと総合研究財団 ・いであ株式会社設計共同体

【優秀工事技術者】

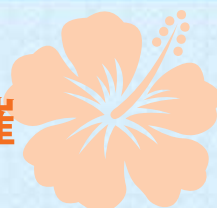
業 者 名	技術者名
株式会社ホカマ	知花 徳和
株式会社丸孝組	宮城 立裕
株式会社大城組	大城 敏男
有限会社大和緑建	嘉陽 宗紀
東洋建設・南海土木 特定建設工事共同企業体	前田 悦雄

【優秀業務技術者】

業 者 名	技術者名
株式会社ニュージエック沖縄支店	中野 歩
株式会社長大沖縄事務所	野尻 敏弘
一般財団法人みなと総合研究財団 ・いであ株式会社設計共同体	首藤 啓

開発建設部

「平成26年度 沖縄ブロック国土交通研究会」を開催



8月5日(火)、開発建設部では、今年度で第34回目となる「平成26年度沖縄ブロック国土交通研究会」を開催しました。

本研究会は、北海道から沖縄まで、全国10ブロックで開催しており、職員等が日頃行っている業務を通し得た成果や研究開発の成果を発表・報告するものです。

発表課題は、一般技術、イノベーション、アカウンタビリティ、ポスターセッションの4部門に分かれており、沖縄県・那覇港管理組合・沖縄美ら島財団・西日本高速道路・沖縄しまたて協会・琉球大学からの発表も含めて24課題の発表がありました。

審査の結果、部門別に6人が優秀賞を受賞しました。

また、沖縄ブロックから国土交通省開催の全国大会に4人の派遣が決定しました。

特別講演におきましては、沖縄ツーリスト株式会社代表取締役会長の東良和氏に「沖縄観光の目指すところとハード・ソフトインフラ」と題しまして、ご講演いただきました。

○優秀賞受賞者

一般技術部門：

金城基樹（全国大会派遣）宮城福太郎

イノベーション部門：

宇江城菜乃（全国大会派遣）棚原勇

アカウンタビリティ部門：宮城一正（全国大会派遣）

ポスターセッション部門：池田豊（全国大会派遣）



発表風景



会場風景



ポスターセッション



表彰式



特別講演 東良和氏



記念撮影

お知らせ

information

人事異動

沖縄総合事務局経済産業部長



名前：牧野 守邦

出身地：東京都

略歴：昭和61年通商産業省(現在の経済産業省)入省 内閣官房原子力規制組織等改革推進室を経て現職

趣味：音楽鑑賞、島野菜を食べること？

抱負：沖縄の地域資源と高い潜在性、琉球王朝以来の独自性等を生かしつつ、未来を拓き次代につなぐべきこの時に、沖縄の産業振興のために業界の皆様と共に考え、悩み、実働に向け、やりがいのある仕事を楽しんでいきたいと思っています。

沖縄総合事務局運輸部長



名前：坪井 史憲

出身地：岡山県

略歴：平成元年 運輸省入省 国土交通省総合政策局公共交通政策部交通支援課長を経て現職

趣味：畑いじり、読書

抱負：沖縄の発展のためには、交通や観光の果たす役割はとても大きいと実感しています。広くご意見を伺いながら、少しずつでも前進したいと思っています。

内閣府政策統括官 (沖縄政策担当)



名前：関 博之

出身地：長野県

略歴：昭和56年 自治省入省 奈良県副知事、総務省地域力創造審議官 等を経て現職

趣味：さまざまな地域に出かけること

抱負：沖縄の振興・発展に向けて、全力で取り組みます。